

令和5年度 1年 国語科 年間指導計画・評価計画

1. 目指す生徒像

学年末の到達目標 「国語を適切に表現し、理解する能力を身に付ける。」
 『知識・技能』 小学校で学習した漢字の読み書きができ、教科書の新出漢字を読むことができる。
 『思考・判断・表現』 文章に即して考え、筆者の意見を捉えることができる。
 『主体的に学習に取り組む態度』 国語に親しむ。文章を読んで自分の考えをもち、積極的に発言することができる。

2. 評価方法

観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	ワークシート 小テスト 定期考査	聞くテスト、スピーチ発表 グループでの発表、課題作文 ワークシート、小テスト、 定期考査	ワークシート 発表 提出物

3. 年間指導計画・評価規準

月	単元	時数	学習活動	①	②	③	評価規準（おおむね満足できる B）
4	朝のリレー	1	・詩を読んで想像したことや、好きな言葉や表現を交流する。			◎	・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。
	野原はうたう	1	・詩の中における語句の意味を的確に捉える。 ・音声の働きや仕組みについて関心をもち、理解を深める。	○	◎	○	・作品の表現に応じて、音読のしかたを工夫しようとしている。 ・作品の特徴や語句の意味を捉え、自分なりの考えをまとめている。
	声を届ける 書き留める／言葉 を調べる	4	・話す速度や音量、調子や間の取り方に気をつけながら、場に合わせて話す。 ・日常生活の中からテーマを決めて材料を集め、自分の考えを明確にして書く。 ・文章の中の語彙について関心をもち、調べる。	○	◎	○	・話す速度や音量などに気をつけて話そうとしている。 ・聞き手を意識して、話し方に気を付けながら話している。 ・集めた情報を整理して記録している。 ・語彙について関心をもち、わからない語や注意したい語を調べている。
5	シンジュン	4	・場面の展開に沿って、二人の関係の変化を整理する。		◎	○	・場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。

	情報を的確に聞き取る	1	・情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモに取る。	◎	○	・メモの重要性を理解し、積極的にメモを取る練習をしようとしている。 ・情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモをしている話の文脈の中で、語句の意味を的確に捉えている。	
	情報処理のレッスン比較・分類	1	・情報を比較、分類する方法を確かめる。	◎	○	・情報の整理のしかたを理解し、情報を比較したり、分類したりしている。	
	情報を整理して書こう	4	・情報を集め、整理してわかりやすく説明する方法を理解する。	◎	○	・集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。	
	漢字に親しもう 1	1	・漢字の組み立てと部首を理解する。	◎	○	・漢字の組み立てに関心をもち、部首を基に既習の漢字を調べようとしている。 ・例の漢字を基に、漢字の組み立てと部首について理解し、既習の漢字を調べている。	
6	ダイコンは大きな根？	2	・段落の役割に着目しながら、事実と意見を読み分け、文章の内容を捉える。 ・筆者の説明のしかたの工夫について考える。	◎	○	・身近な「野菜」について書かれた文章に関心をもち、段落ごとの内容をまとめようとしている。 ・問題提起の段落や、根拠を述べている段落など、段落の役割の違いに気付き、筆者の工夫を理解している。 ・段落の役割を考える際に、文と文、段落と段落を接続する語句に着目している。	
	ちょっと立ち止まって	3	・文章と図の関連や段落と段落の關係に注意して文章の構成を捉える。 ・筆者の考えを基に、自分のものの見方や考え方を広げる。 ・文脈における語句の意味を的確に捉える。 ・文章に用いられている漢字を正しく読み、書き慣れる。	○	◎	○	・図を使って説明された文章に興味をもち、文章と図を対応させて読もうとしている。 ・筆者の考えを基に、自分のものの見方や考え方を広げている。 ・指示する語句が表す部分を適切に読み取っている。 ・問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。
	意見と根拠	1	・意見を聞いたり、伝えたりするときのポイントを確認する。	◎	○	・説得力のある根拠や、意見と根拠の結び付きについて理解している。	

7	話の構成を工夫しよう	4	・話の構成や順序を工夫し、自分の伝えたいことを整理し、相手の反応を踏まえながら紹介する。	◎	○	・「スピーチの例」を参考にして、1分以内で自分が伝えたいことをスピーチにしようとしている。 ・「スピーチの例」の構成を基に、自分の思いや考えを、聞き手に伝わるように話している。 ・相手が聞き取りやすいように話す速さや声の大きさなどを工夫している。	
	漢字に親しもう 2	1	・新出漢字を確認し、練習問題に取り組む。	◎	○	・小学校で学習した漢字の熟語を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。	
	言葉のまとまりを考えよう	2	・「文章・談話」「段落」「文」「文節」「単語」の違いと各々の特徴を理解する。	◎	○	・文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。	
	情報を集めよう。情報を取り取ろう。情報を引用しよう。	3	・本などから情報を集めるための方法を理解し、目的に応じて必要な情報の読み取り方を身に付ける。	◎	○	・自分が設定したテーマについて、さまざまな方法を用いて調べようとしている。 ・本やインターネットを用いて情報を集めて読み取り、テーマに対して必要な情報を選択している。	
	詩の世界	3	・詩を読んで、語句の意味を的確に捉え、内容を理解する。 ・詩の表現の特徴を捉えて読み、描かれた情景を想像する。	○	◎	○	・興味や関心をもって、詩を読もうとしている。 ・詩の情景を想像しながら朗読している。 ・3編の詩の形や表現の特徴に着目しながら朗読している。
	比喩で広がる言葉の世界	2	・比喩を使うかどうかで、表現にどんな違いが出るかを考える。	◎	○	・文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。 ・比喩などの表現の技法を理解し使っている。	
	指示する語句と接続する語句	2	・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深める。	◎	○	・指示する語句と接続する語句の役割を理解している。	
	言葉を集めよう	1	・観点を基に、多くの言葉を集め、その言葉を使って日常生活を題材とした紹介文を書く。	○	◎	○	・日常生活の中から観点を基に多くの言葉を集めようとしている。 ・例文の観点を参考にして、多くの言葉を集めて、好きな食べ物についての紹介文を書いている。
読書を楽しむ	1	・教材文を通読し、記録をしたり、友達に紹介したりする。	◎	○	・さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書が知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。		

9	本の中の中学生	1	・考えていることや悩んでいることが似ている登場人物、友達になれそうな登場人物はいないか、探しながら読む。	◎	○	・読書が、知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。
	大人になれなかった弟たちに…	4	・登場人物の行動や情景描写などに着目し、心情を読み取る。 ・表現の特徴や時代背景を押さえ、作者の思いを捉えながら、自分のものの見方や感じ方を見つめ直す。	◎	○	・時代背景や人物の描写に関心をもって読もうとしている。 ・情景や人物描写に着目して登場人物の心情を読み取っている。 ・表現の特徴や時代背景を押さえ、作者の思いを捉えながら、自分のものの見方を広げている。
	星の花が降るころに	5	・時や場所、登場人物の組み合わせなどに注意して、作品をいくつかの場面に分ける。	◎	○	・文脈の中で使われている語句の意味を捉え、情景を想像して読む。 ・登場人物の気持ちや行動、場面の展開や描写に着目して読み、自分の考えをもつ。
	聞き上手になろう	1	・どのように聞き方の工夫をしたか、また話し手にどんな質問をし、どんなことを引き出せたか。聞き上手になるための秘訣をまとめる。	◎	○	・話し手のスピーチに耳を傾け、聞いたことを基に、質問のしかたを工夫して聞き、対話をしながら話を十分に理解しようとしている。
	項目を立てて書こう	2	・相手にわかりやすいよう、項目の順序や表現を工夫させ、案内文を書く。	◎	○	・事柄や目的に応じた項目を立てて、相手に伝わりやすい案内文を書こうとしている。 ・教材の「案内文の下書き」を基に、項目ごとに整理し、読み手を意識してわかりやすい案内文を書いている。
	読み手の立場に立つ	1	・読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整える。	◎	○	・読み手の立場に立って、誤記はないか、表現は適切か、伝える情報が正確にわかりやすく書けているかなどを検討している。
	漢字の音訓	1	・「音」と「訓」の歴史や性質を理解する。	◎	○	・漢字の音・訓に関心をもち、漢字の理解を深めようとしている。 ・例の漢字を基に、漢字の音・訓について理解し、既習の漢字においても音・訓について調べ、語彙を広げている。
10	方言と共通語	2	・方言と共通語の違いを理解する。	○	◎	・共通語と方言の役割や特徴について理解している。
	漢字の音訓	1	・「音」と「訓」の歴史や性質を理解する。	◎	○	・漢字の音・訓に関心をもち、漢字の理解を深めようとしている。 ・例の漢字を基に、漢字の音・訓について理解し、既習の漢字においても音・訓について調べ、語彙を広げている。

11	「言葉」をもつ鳥シジュウカラ	4	・結論に説得力をもたせるために、どのような工夫をしているか、本文の記述や図表などを根拠として、自分の考えを文章にまとめる。	◎	○	・筆者がどのような事実を基にどのような仮説を立てたかについて、理解している。 ・筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている。
	原因と結果	1	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解する。	◎	○	・原因と結果がどうつながっているか整理し、二つの関係について理解している。
	根拠を示して説明しよう	5	・根拠を明らかにして、説得力のある文章を書く。	◎	○	・情報を整理し、自分の考えを裏づける資料やデータを選び、出典の示し方に気を付けながら引用している。
	漢字に親しもう 3	1	・新出漢字を確認し、練習問題に取り組む。	◎	○	・小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。
	話し合いの展開を捉える	1	・話題や流れを捉えて議論するためには、どのようなことに気を付ければよいかを考える。	◎	○	・話題や展開を捉えながら話し合うために気を付けることを理解し、課題に沿って発言内容を考えている。
	話題や展開を捉えて話し合おう	4	・話題や展開を捉えながら話し合う。互いの発言を結び付けて考えをまとめる。	◎	○	・話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。
	大阿蘇	1	・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。	○	○	・繰り返しの表現や繰り返しながら変化している表現などに着目しながら考えている。
古典の世界	1	・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむ。	◎	○	・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。	
蓬萊の球の枝	4	・「蓬萊の玉の枝」に登場する人々の思いや行動を書き出し、現代の自分たちの考えや行動と通じるところを探す。	◎	○	・「蓬萊の玉の枝」に登場する人々の関係や思いに着目して読み、現代の自分たちと比べ、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。	
12	今に生きる言葉	2	・「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の言葉の意味や、基になった故事を調べる。	◎	○	・「矛盾」や、「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の基になった故事を調べ、どんな意味に使われるようになったか説明している。

	「不便」の価値 を見つめ直す	4	・筆者の考えを人に説明するつもりで、200字程度で要約する。	◎	○	・要約するための情報の整理のしかたを理解し、自分の考えをまとめるときに要約や引用を明確に示している。
	助言を自分の文章に生かそう	2	・作品を分析するときの観点を決め、「書評に使う言葉」を利用して、書評を書く。	◎	○	・読み手からの助言を踏まえて、自分の書いた書評のよい点や改善点を見付けている。
	漢字に親しもう 4	1	・新出漢字を確認し、練習問題に取り組む。	◎	○	・学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。
	言葉の関係を考えよう	2	・「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」を理解する。	◎	○	・「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について、理解を深めている。
	考える人になろう	1	・「君たちはどう生きるか」「たのしい制約」の文章を読み、筆者のものの見方や考え方を捉える	◎	○	・筆者のものの見方や考え方が表れている部分に線を引き、考えたことをグループで発表し合う活動を通して、自分の理解を確かなものになっている。
1	少年の日の思い出	6	・場面展開や人物の描写に注意して作品を読み、登場人物の心情の移り変わりを捉える。 ・文脈の中における語句の意味を正確に捉えて作品を読み、登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。	◎	○	・作品を読み、情景や登場人物の気持ちに関心を向けようとしている。 ・場面展開や人物の描写に注意しながら読み、登場人物の心情の移り変わりを捉え、人物のものの見方や考え方について、自分なりに考えている。 ・場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目して作品を読み進めている。
	漢字に親しもう 5	1	・新出漢字を確認する。	◎	○	・学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。
	単語の性質を見 つけよう	2	・「自立語と付属語」、「活用の有無」、「品詞」、「体言と用言」について理解する。	◎	○	・「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。
2	随筆二編	2	・筆者が「風花」ではなく「空」という題名を付けたのはなぜかを考える。	◎	○	・場面の展開や描写に着目しながら、筆者の「空」についての思いや「父親」への思いを捉えている。
	構成や描写を工夫して書こう	4	・随筆を書く。	◎	○	・書きだしや結び、出来事を、言葉を吟味し、描写を工夫して書いている。

3	さまざまな表現方法	2	・表現技法によるリズムの違いや効果について考える。	○	○	・比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解している。
	漢字の成り立ち 漢字に親しもう 6	1	・漢和辞典を利用して練習問題を解き，漢字の成り立ちを調べ，分類する。	◎	○	・漢字の成り立ちについて理解し，漢和辞典を使って調べている。
	一年間の学びを振り返ろう	5	・観点を決め，一年間の学習を振り返る。	◎	○	・「観点」に見合った情報を集め整理し，内容が伝わる端的な言葉をフリップに書いている。
	さくらのはなびら	1	・詩の中で印象に残った言葉や表現を抜き出し，理由とともに発表する。	◎	○	・詩の解釈を通して理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものになっている。
	学習を振り返ろう	3	・卒業式でどんな歌を歌ったり聞いたりしたいかを書く。	◎	○	・卒業式で歌ったり聞いたりしたい歌について，自分の思いや考えを繰り返すだけでなく，根拠となる事例を挙げて文章を書いている。